

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	基礎ゼミⅡ(B)						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)						
担当者	原谷 直実、中野 吉正、喜屋武 毅、平野 剛						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気電子情報通信工学分野の発展を知り、技術社会における位置づけを認識できる(A9)</li> <li>・電気電子情報通信工学分野の技術発展に関する授業内容を要約し、提示された課題について追加調査できる(A4,A10)</li> <li>・授業内容の要約と追加調査した内容について報告書を作成し、わかりやすく説明するとともに、課題や問題点を抽出できる(A4,A10,C1)</li> <li>・電気電子情報通信工学分野の歴史と組込み技術の位置づけを知り、今後の発展を探ることができる(B6,C6,C7)</li> </ul>						
日程と内容	第01回(09/17)：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、自己点検 第02回(09/24)：自己診断 第03回(10/01)：SAT(英文による論理的思考の分析と解釈) 第04回(10/08)：〃 第05回(10/15)：〃 第06回(10/22)：〃 第07回(10/29)：〃 第08回(11/12)：〃 第09回(11/19)：〃 第10回(11/26)：〃 第11回(12/03)：〃 第12回(12/10)：〃 第13回(12/17)：〃 第14回(12/24)：〃 第15回(01/14)：後期末点検						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題						
	演習	100%		計		100%	
授業到達目標の達成度	次年度以降、アクティブラーニングとチームワーク力をテーマとする内容に変更する予定で、当初シラバスとは異なる内容となった。						
反省点	近年、アクティブラーニングとチームワーク力をテーマとするカリキュラムに関心が寄せられ、多くの実態調査の報告がなされているため、当初シラバスとは異なる内容で授業を実施した。今年度は、英文による論理的思考の解釈と分析を平易な数学の内容を用いて演習した。授業は、学生が主体となって進められた。一方で、チームワーク力についてのテーマは実施できなかった。						
来年度の計画	アクティブラーニングとチームでミッションを完成させるテーマに内容を変更する予定						
授業評価アンケートに対するコメント	平易な数学の内容を、英語で論理的に思考・分析・解釈するための手法を学ぶ内容であったため、授業に対する満足度(8.3)はまずまずである。予習・復習(3.4)については、もう少ししてほしかったと思う。						
履修登録者数	28名	定期試験受験者数	28名	合格者数	26名	合格率	93%